

ICTを活用した教育効果の向上をはかる 実践的な取り組みの共有

2020年度「龍谷ICT教育賞・学長賞」公開審査会

龍谷大学学修支援・教育開発センターでは、FD推進事業として、毎年度FDフォーラムを開催しております。16回目を迎える今回は、コロナ禍において、授業運営に尽力している教員や、学生の学習意欲向上に努めている教職員を対象として、優れた取組を称賛するための制度として創設した「龍谷ICT教育賞」の公開審査会をFDフォーラムとして以下のとおり開催します。

ICTを活用した教育効果の向上をはかる実践的な取り組みを皆様と共有する機会となりますので、ご関心があります教職員、学生などの皆様にぜひ参加のご検討をしていただければ幸いです。皆様のお申込みを心よりお待ちしております。

日時：2021年3月2日（火）15:00～17:00（詳細は裏面）

会場：オンライン（Zoomウェビナー）

申込み方法

下記URLもしくはQRコードからお申し込みください。

https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=18XEpbA0Rk2t8jha_JU9uPI2u8ZTHalMtNAeOVXGIG9UM0EyMFVXNTNPQUo1SU5DQlROVjVBTEM3Ry4u

募集定員

100名

申込期日

2021年2月24日（水）

問い合わせ先

龍谷大学 学修支援・教育開発センター

電話 075-645-2163 FAX 075-645-2190

E-Mail fd-ryukoku@ad.ryukoku.ac.jp 担当 水野

申込QRコード



申込はこちらから

※お申し込みいただいた方に、後日E-Mailにて参加URLをご連絡いたします。



第16回 龍谷大学FDフォーラム プログラム

司会: 学修支援・教育開発センター長／龍谷大学先端理工学部 教授 藤田和弘

15:00～15:15	開会の挨拶 「龍谷ICT教育賞・学長賞」 概要説明	龍谷大学 学長 入澤崇 司会
時間	取り組み名	概要
15:15～15:25	オンライン授業での新たな展開	「現代の企業とマネジメント」という講義において、ライブ配信を主として、一講義90分の授業を3部構成とした。1部30分のうち20分をスライド解説や動画で、残り10分を小テストや質疑応答と休憩にあてた。出席カウントを毎授業実施される小テスト3回分のすべての提出をもって出席扱いとし、遅刻者、途中の居眠り、早退者を大幅に減らすことができた。小テストの点数は出席カウントとは別にすべて集計し、平常点としたため、受講生は遅刻しても、早退しても可能な限り授業を受けて、小テストを提出する努力をした。平常点の配分はたった10%であったにもかかわらず、303名の受講生の小テスト提出率は79～96%と対面授業より、さらに高い水準となった。
15:25～15:35	ICTを活用した運動の習慣化への取り組み	「スポーツ技術学演習(フィットネス)」は、実技と理論を併用するスポーツ科学系科目で、球技系やラケット系などとともに展開されている6種目の一つである。「フィットネス」を履修する学生の体力レベルは高くない傾向にあることから、健康の維持と体力の向上を目的として、従来、履修生に対し、一週間に一度の授業の中で「健康づくりに有効な運動を実践」を目的として展開してきた。オンライン授業になったことを機に、ICTを利用することで、従来の一週間に一度の「運動の実践」に加え、「日常における運動の実践(運動の習慣化)」を試みた。具体的には、①スマホに搭載された身体活動状況を把握できるソフト等の各種デバイスの利用、②各種トレーニングを紹介したPCなどによる動画の利用、また③トレーニングの立案についてのLMSの活用を手段とした。ICTの利用により、学生は、気軽に手軽に、また個人の体力の状態や運動の目的、興味関心に応じた運動の実践が可能となり、日常的に運動を実践する「運動の習慣化」が期待できることが示唆された。
15:35～15:45	オンライン授業だからこそできる実践現場の空気を伝える授業	オンライン授業を配信する際、担当教員自らが障害者福祉施設に赴き、現地において障害のある人や職員に参加してもらい授業を配信した。当初は外部講師(障害者施設の所長)に講演をしていただく予定だったが、4月からのオンライン授業への変更で、どのように参加してもらうことができるのか、対面で会えないという条件の中で、どのように講師の思いや実践の深みを学生に感じてもらうかを考え、教員が施設に赴きTV中継のような形でライブ配信することで代替となる授業を実施した。また、事前課題として所長のインタビューをオンデマンド配信し学生に見ておいてもらうこと等を提示し、授業に対する期待を高めてから授業に入り、授業後もmanaba courseを使って感想を提出してもらい、コメントをつけて返信し学生全員で共有した。
15:45～15:55	オンデマンド授業における実物教授の実践	オンデマンド授業を利用した実物教授の実践を行った。取組の具体例としては、担当講師が(1)龍谷大学瀬田キャンパスに生育する植物を生態、名前の由来などとともに紹介するフィールドワーク、(2)ダイコンやコンセントなど手に取れるものや生徒各人でできる実験を題材とした科学を学ぶことの意義や楽しさを伝える授業、(3)実物、写真や講師の実体験にもとづく話を多く盛り込んだ授業、(4)授業後アンケートに寄せられた質問や要望に対する実物や写真を使った回答動画の作成を行った。身近なものを使って体験できる問題や実験を積極的に取り入れることで、対面授業でなくても実物教授に近い授業を行うことができ、学生の学習意欲を促進できたと考えている。
16:05～16:15	予想を出し合い実験で確かめる双方向授業「物理学概論・実験」のハイフレックス化の試み	「物理学概論」と「同実験」を一体化し融合的に進めた。具体的には、仮説実験授業の研究成果に基づき、出題・予想表明・理由発表・議論・予想変更・実験を積み上げ、「間違いを恐れず、<間違える練習>くらいに自分の脳ミソも他人の脳ミソも動かして下さい」と議論を促す双方向授業を図っている。その効果は対面授業でこそよく発揮されるが、オンライン授業対応の経験に基づき、ハイフレックス化の試みがなされた。
16:15～16:25	異業種のストーリーミング技術を取り入れた新しい講義形態の模索-スマホネイティブ世代の学生による／学生のためのFDを目指して-	「動物の自然誌(2020年度・前期)」の有志の受講生たちとLMS上で議論し、出てきたアイデアを直近の講義で採用、講義後の全体アンケートを踏まえて次の講義に生かす、というPDCAサイクルを繰り返して、オンラインならではの新しい講義形態を模索した。具体的な工夫は、Vtuberを参考にした講師と学生のバ美肉、ニコニコ動画を参考に学生からのコメントをリアルタイムで講義資料上に表示、radikoを参考に放送局所属の学生パーソナリティを加えたラジオ配信風講義、などである。さらに、従来から大学の講義において課題とされてきた、教員・学生の双方向的な講義形態と、課題に対する十分なフィードバックに取り組んだ。具体的には、Google Meetを利用したグループディスカッションとLMSを利用した学生同士のレポート添削、およびステップアップ方式のレポート課題を考案した。
16:25～16:35	コロナ禍において入門ゼミで行った挑戦と醸成	教員、同級生、先輩とのコミュニティの構築、正課・課外活動において学生同士が切磋琢磨できる関係づくりのサポート、学びとキャリアに対する意識の醸成を目的として、包括的な教育コンテンツを配信した。内容として、キャンパスツアー動画22本の配信、オンライン推薦図書紹介、OB・OGによるキャリア紹介動画6本の配信と質疑応答、新入生によるオンラインキャリアプレゼン、オンライン友人インタビューと他己紹介などである。最終回は瀬田キャンパスにおいて、少人数グループずつ先輩に案内してもらい、リアルキャンパスツアーとミニ入学歓迎セレモニーを行った。
16:35～16:45	Teamsライブイベントを用いた大人数講義の実践について	2020年度に開設した先端理工学部新入生全員(564名)を対象とした正課科目「理工学のすすめ」の授業において、Microsoft Teamsの大人数ライブイベント及びmanaba courseを同時併行で用いたライブ授業を実施した。特徴的な取り組みとして以下5点を挙げる。①多様な人材による授業構成とTeamsライブイベントによる大人数授業の実施②manabaを用いた授業前後の課題提出③Q&A機能を用いた授業中の質疑応答④授業後のオンデマンド配信⑤出席者の出席記録
16:45～16:55	高大連携科目『理数研究』におけるオンラインと対面のハイブリッド型による授業展開について	本科目は、「主体的な学び」「特に理学学部への進学を意識した研究基礎の定着」を目的とした高大連携事業の一環として先端理工学部および農学部と連携し実施している。対面授業復帰後も積極的にICTを活用し、manaba courseとGSuiteによる授業展開を実施している。manaba courseではYoutubeを利用したオンデマンド配信による授業視聴、課題への取組みを行い、GSuiteではドキュメントやGoogle Meetを活用した情報共有を行い、研究成果の発表に展開した。
16:55～17:00	閉会の挨拶	

※時間は目安であり、進行状況によって前後すること、また、進行状況に応じて途中休憩を入れること、予めご了承ください。

問い合わせ：龍谷大学 学修支援・教育開発センター
 電話 075-645-2163 FAX 075-645-2190
 E-Mail fd-ryukoku@ad.ryukoku.ac.jp 担当 水野